

推進が図られているが、今後も町民の安心安全を確保するため連携を深めていく。

医療機関に対する支援のルール制定は難しいところもあるが、医療体制の充実に向けて努めてまいりたい。

新得町ではかねてから救急医療に関して補助金を支出し、増額もそのルールの延長線上での見直しである。

財政支援については次元の違う問題であり、早い時点で三町での議論の必要性を感じている。

問 幼保一元化の必要性について検討を！

答 今後研究していきたい

昨年度から新得幼稚園と新得保育所の入園児のバランスが大きく崩れている実態がある。

昭和50年代から話し合われた幼保一元化であるが、時期尚早のためか実現しなかった。

10年前認定こども園法が制定され近隣では導入が進められているが、どこまで検討されているのか。

また、待機児童数・受入可能数・今後の入所予想数、すし詰め保育状況に対するクレームはあるか。

浜田町長

幼保一元化を重要施策と位置づけ、昭和54年に屈足地区保育所統合により運営の一元化・保育内容の統一を実現したほか、昭和58年には本

町で幼稚園と保育所のカリキュラムの年齢別統一化と幼稚園教諭・保育士相互人事交流を実施、幼児保育検討委員会などでそれぞれの特色を生かした運営を進めている。

桂田児童保育課長

新得保育所の総園児数は112名で苦慮しているが、屈足保育園は定員にまだ余裕があるため、新得地区の子供の受入は可能。

ちなみに、本町・屈足とも待機児童数は0名。

これからの出生数にもよるが、女性の社会進出等により保育所利用増が見込まれるので、独自の体制づくりを研究する。



問 狩勝牧場跡地の幅広い有効利用について

答 産業振興につながるよう協議していきたい



森本 洋子 議員

昨年、地域振興用地等として2億円で購入した福山地区の狩勝牧場の土地・建物だが、牧草地についてはJA新得町に

貸与していると聞いているが、その後の進捗状況は。

また、一般的な話で住宅は一年も住まないと痛んでしまうが、当該地には住宅が6戸分残されている。

農政だけでなく地域戦略面からも考え、関係人口、移住につなげ、たとえ短期であろうと利用してもらい少しでも人口を増やす努力をしてはどうか。



浜田町長

現段階において具体的な活用策は報告できる状況にないが、今後も町の産業振興につながる努力を続けたい。

また、住宅だけの切り口では私も森本議員と同じ思い。

ただ、狩勝牧場跡地利用に支障がある方の入居は避けねばならない。

まずは、空き家は跡地利用とセットで産業振興という形で考えていきたい。

利用もJA新得町とは限らない。

しかし、それでも空き家利用が進まない結論に達した時には、次の方法として地域戦略を含め内部で協議を進めていきたい。

